

東軌工業株式会社



WEBサイト



健康経営で鉄道の安全安定輸送に貢献！



代表取締役社長	加藤 友啓
本社所在地	宮城県宮城郡利府町利府字新谷地脇5-10
主な事業内容	鉄道工事業
従業員数	70人
健康保険組合名	全国健康保険協会（協会けんぽ）宮城支部

コミュニケーション向上



従業員の健康課題として新型コロナウイルス感染症対策、急病による従業員の長期休業、業務上の怪我や、受動喫煙などの課題が顕在化し、健康管理を個人任せにせず、会社がサポートしていくことの必要性を痛感しました。従業員の健康を守り、一人一人が生き生きと働ける環境作りを目標に、健康経営の取り組みが始まりました。

健康経営の取り組みを始めるきっかけ

健康経営の取り組みを始めるきっかけとなったのは、働きやすく・生産性の高い企業に贈られる「キラリと光る取り組み賞」を厚生労働省より受賞したことでした。続けて宮城県より「働き方改革実践企業認証」を与えられ、元請会社からは5年連続最高ランクの評価を頂き、社内外から働きやすい企業の評価を受けることができました。これにより今以上に従業員が働きやすい環境づくりが課題となり、心身ともに健康で働ける」、従業員がパフォーマンスを最大限発揮できる」企業を目指すことを目標に掲げました。そんな時、健康経営」という取り組みがあることを知り、具体化した取り組みを始め2023認定を目指しました。

継続した啓蒙活動

健康作りのサポート強化として最も意識したのは取り組みを継続することです。
毎月定例で全員参加の安全会議や所長会議において、健康情報の提供や、健康DVD視聴、健康体操など、間を置かずに健康に関して考え実践する取り組みを継続しました。また、健康習慣アンケートで健康課題を確認し、具体的な計画を立て実践しました。
○健康情報を毎月社員全員に配布。
○健康DVD視聴（メタボ、メンタルヘルス、歯の健康、たばこの害、睡眠など計6回）
○健康セミナーの定期開催（腰痛防止体操3回、禁煙セミナー、メンタルヘルスクア、血管年齢測定会実施）

健康DVDを視聴中

会議中にストレッチ

健康づくりが”あちこち”で見える社内に

初めに社内に設置してある自動販売機に健康飲料を導入しました。併せて選ぶ飲み物はなるべく糖分の少ない飲料にすることを、健康情報を配布し伝えました。次に社内の見えやすい数か所に健康啓蒙ポスターを掲示して健康について考える機会を設けるようにしました。そして、昨年10月に宮城県主催の歩数アップチャレンジへの参加を促し運動機会とコミュニケーションづくりの場を設けました。また新年には一年を通して健康を意識するという想いを込めて、全員に健康カレンダー配布しています。そのほか新入社員を対象としたメンタル研修やながら運動の実施など、健康」が身近に感じられる社内になっています。

社員の交流の場を提供

健康経営優良法人2024を目指す取り組み

一番の健康課題は喫煙率が高さです。喫煙しない若者の入社が増え、社内の喫煙に関してもより工夫が必要です。喫煙者の非喫煙者への気遣い・心配りといったソフト面についても考える機会を作っていきます。またコロナにより自粛していた従業員間のコミュニケーションの場も増やしていきます。月一回の安全会議で全員が顔を合わせる機会を作る他、昼食付き研修やレクリエーションとして東北楽天イーグルスの年間シートを希望者に配布し従業員の憩いの場を作る取り組みを行っています。

健康経営の取り組みで期待すること

健康経営の取り組みで期待することは、従業員が心身共に健康になることです。従業員の中に健康意識が高まっていくことで、健康行動に繋がっていくことを期待しています。また、弊社は求人票や高校生向けの求人冊子にも健康経営認定取得を掲載しています。応募を検討する若者とその保護者や進路を指導する先生方が「この会社は従業員の健康をしっかり守ってくれる、従業員を大切に思ってくれる」と感じ、会社選択をしてくれることを期待します。そのために、健康づくりを更に強化し、社外にも聞き及ぶほどの取り組みを実践して参ります。